中

海田中学校通信



第8号 **自律・尊重・挑戦** 海田町立海田中学校 〒736-0026 広島県安芸郡海田町幸町 |0-| 令和5年||月2日 発行 TEL(082)822-2258 HP http://www.hrs-kaita-j.ed.jp

新時代! ~ 新人大会は 1·2 年生の新チームでの試合 海中パワーを試すとき! ~















10月14日(土)15日(日)に安芸郡・江田島市中学校新人大会が行われました。

新チームになってから初めての中体連の試合で、日ご ろの成果を発揮し、活躍しました。

11 月 11 日(土)12 日(日)の呉・賀茂地区新人大会に さらにつながります。 頑張れ、海中!

新しい時代の幕開けです!

安芸郡・江田島市中学校新人大会							
バスケット【男子】	優勝						
剣道【女子団体】	優勝						
剣道【男子団体】	剣道【男子団体】						
バスケットボール	2位						
野球	2位						
バレーボール【女子	3位						
卓球【女子団体】	3位						
柔道【男子団体】	3位						
	個人の部						
剣道 男子個人戦	1位	藤井 玲皇					
剣道 男子個人戦	2位	池本 京司					
剣道 男子個人戦	3 位	垂門 圭佑					
剣道 女子個人戦	1位	吉田 実心					
剣道 女子個人戦	2位	船本 さくら					
剣道 女子個人戦	3 位	森川 優奈					
剣道 女子個人戦	3 位	中岡 瑠依					
柔道 階級別	2位	中山 英馬					
柔道 階級別	1位	佐々木 優					
柔道 階級別	3 位	村上 聖依					
女子ソフトテニス	2位	高盛、岡田ペア					
男子ソフトテニス	3位	加藤、中村ペア					
剣道 男子個人戦	6位	村上 聖依					

文化系分野でも頑張っています

部活動や夏休みに紹介している様々な応募コ ンクールに挑戦した皆さんの結果も入ってきまし た。おめでとうございます!

「広島県中高生ドローイング大賞展」							
奨励賞	橋本 珊紅						
第16回呉高専建築デザインコンクール							
入選	浅井 千紘						

共に学ぶ~ 海田中学校公開研究会 主体的に学ぶ姿

10月6日(金)海田中学校公開研究会を行いました。

「心の元気」全町展開プロジェクト事業を受け、道徳教育の研究成果

を全学級公開で生徒の姿を通してみていただきました。県外の教員を含め 100 名以上の教育関係者、広島大学からは宮里教授にも来ていただき道徳の授業づくりについて学びを深めました。それぞれがそれぞれの立場で共に学ぶ充実した一日になりました。





百蕾繚乱 私たちの文化祭 ~Creare Cantare Amare~

10 月 28 日(土)文化祭がありました。午前中は合唱コンクール、ビブリオバトル、図書委員会による朗読。午後は教科、文化部の展示を見た後、体育館で吹奏楽部と英語暗唱、放送部の発表を全員で楽しみました。



三校合同あいさつ運動 海田中・海田東小・海田南小

10月25日(水)、海田中学校生徒会執行部が各校へ行って、

生徒委員は正門と裏門で一緒にあいさつ運動を行いました。

「心の元気」全町展開プロジェクト 事業の取組として植栽活動とともに 小中学校合同で取り組んでいます。



	11月行事予定						
1	水	避難訓練 2年実力テスト 自由参観					
	木	2年薬物乱用防止教室 漢検 自由参観					
3	金	文化の日					
4	土						
5		英検(二次)					
2 3 4 5 6 7	月	生徒委員会打ち合わせ 3年進路相談					
7	火	新入生体験入学 3年進路相談					
8	水	生徒委員会 1年修学旅行説明会 3年進路相談					
9	木						
10	金	生徒朝会 安芸郡音楽会 芸術鑑賞ミュージカル					
11	土日	呉・賀茂新人大会 吹奏楽まつり					
12		呉・賀茂新人大会					
13	月	読解タイム 3 年英語「話すこと」調査					
14	火	3年英語「話すこと」調査 保育実習(さいわい保育園)3-1					
15	水	照度検査 1年平和学習					
16	木						
17	金	海田町学校意識調査(~23 日)					
18	土						
19							
20	月	期末試験					
21	火	期末試験					
22	水	期末試験 道楽隊(2年)					
23	木	勤労感謝の日					
24	金	生徒会役員選挙					
25	土						
26	日						
27	月	読解タイム					
28	火						
29	水	2年修学旅行前検診					
30	木	3年がん教育					

【12月の主な行事】

5日 2年標準学力調査 6日 生徒委員会 7日 全校朝会 11~13日 3年三者相談 2年修学旅行

13日 1年標準学力調査 15日1年道楽隊

19~21日 1・2年三者懇談会 21日 3年実力テスト 22日 終業式 25・26日 3年登校日

※予定が変更になる場合があります。その際は緊急メール等でお知らせします。

令和5年度 学校自己評価表 海田町立海田中学校

学校教育目標 「考え,実践する」~ 自律,尊重,挑戦 ~

道徳意識調査(5月), 学校生活アンケート(生徒・保護者・教員 7月), 保健のアンケート(6月)

				評価基準							
中期経営 目標		評価項目	評価指標	A B C D			自己評価(中間)				
				目標達成	ほぼ達成	もう少し	できていない	中間値	R4.12	評価	結果と課題の分析・方策
確かな学力の定着と向上	主体的・協働的で、考えを深め表現するため	②主体的に学 ぽうとする学 習意欲の向 上 (自律・挑戦)	◇学校生活アンケート(生 徒)で、「授業では、自分の 考えを積極的に伝えていま す」と肯定的に回答する生 徒の割合 (選択する力・表現する力)	80% 以上	70% 以上	50% 以上	50% 未満	70.8%	全64.0 ①61.6 ②67.6 ③62.7	В	目標値の80%以上を達成するためには、生徒に目的意識を持たせて指導しなければならない。そのために、キャリア学習を通して、生徒が目指す将来像や進学を希望する高等学校等を意識させる指導を継続するとともに、公開研究会で仮した単元の中で、生徒が自分の考えを積極的に伝える場面の設定と発言に対する適切なフィードバックを徹底する。公開研究会後も、引き続き、生徒が安心して自分の考えを発信できるように指導を工夫していく。
			◇学校生活アンケート(教員)で、「『一人一人を尊重した授業をするための留意点』を授業の中で意識しています」と肯定的に回答する教員の割合(選択する力・表現する力)	90% 以上			50% 未満	92.9%	-	А	目標値を上回る中間値となっているが、あくまで教員の自己評価によるものであり、生徒一人一人を大切にする授業づくりを継続していく必要があると考える。その中で、生徒が問いや疑問を持つ発問の工夫や、その問いや疑問を個人で思考し、ペアやグループで意見交流したり考えを深めたりする場の設定を徹底するとともに、生徒の誰もが授業参加できるようにICTを活用した視覚支援等も充実させていく。
		◎「読む文 化」を生み出 す学校づくり (自律)	◇各学期における図書室 の本の、一人当たりの貸出 冊数の割合(認識する力・ 選択する力)	5冊 以上	3·4 ##	2·1	o m	全2.8 ①4.2 ②3.5 ③1.0	R5年度か ら指標を 変更昨年 (総数) ①802冊 ②446冊 ③356冊	С	SHR時の図書室を利用できるようにしたり、生徒の関心のある 図書を購入したりするなど、生徒が図書室を利用できる機会を 提供している。また国語科では、ピブリオバトルの取組、図書 委員会を中心に図書室利用を促進するような働きかけも続けて おり、継続して取り組んでいく。
	の授業改善	◎確かな学力 の定着 (自律)	◇全国学力調査及び標準 学力検査で全国平均を超 えることのできた学年・教 科の割合	80% 以上	60% 以上	50% 以上	50% 未満	(全国学 力) 国+2.2 数+8.0 英-1.6	R5年度から指標を 変理3学 年国・数 以外は均 国 軽え 77.8%	В	教科の枠にとらわれず、「読むこと」を促進するために、読解タイムを継続して取り組んでいる。教科の特性も大切ではあるが、まずは「読むこと」にこだわり、各教科で工夫しながら指導をしていきたい。その中で、全国学力調査等で出題される間いの特徴を捉えて、日々の指導を充実させていくことが大切である。定期試験等にもそうした特徴を反映させるような工夫をしていきたい。
生徒の育成生徒の育成	自他を大切に・	◎自己実現 カ・自己効力 感の向上 (尊重)	◇道徳意識調査で、「自分にはよいところがあります」 と肯定的に回答する生徒 の割合 (認識するカ)	80% 以上	60% 以上	50% 以上	50% 未満	全81.8 ①80.4 ②84.3 ⁴ ③80.8 ⁴	①76 ②74	А	昨年度との比較では、全体で約2 ポイント上昇した。特に2 学年については約8 ポイント、3 学年については約7 ポイント上昇している。学級経営や道徳科の授業に加え、すべての教育活動の場面で、生徒を認め、励まし、伸ばすような指導を教職員全体で取り組めているからであると考える。今後も継続して自己肯定感を高めるような取組を進めていきたい。
	する生徒の育成	◎海田町を愛する生徒の育成(尊重)	◇学校生活アンケートで、 「海田町に今後も住み続けたいと思う」と肯定的に回答する生徒の割合(選択するカ)	80% 以上	60% 以上		50% 未満	全80.2 ①83.3 ②76.0 ③81.5	283.1	А	総合的な学習の時間や道徳における地域学習の成果として、 肯定的回答が80%を超えており、多くの生徒は海田町に対して 肯定的な思いを持っている。今までの取組を継続していく。ま た、コロナ感染症も一定の落ち着きを見せており、総合的な学 習の時間の地域学型道徳の郷土愛を扱う場面で、可能な範囲 で実感を伴う学びを仕組むなどの工夫を行うことで、生徒の海 田町に対する思いを更に高めていきたい。
健やかな体	能慣の	◎規則正しい 生活習慣 (自律)	◇保健のアンケートで,適切で十分な睡眠時間(7~8時間程度)をとっていると判断される生徒の割合(選択する力)	80% 以上	60% 以上	50% 以上	50% 未満	①85.6 ②73.0	全73.5 ①83.8 ②69.5 ③65.3	В	昨年度との比較では、全体では0.6ポイント上回っている。しかし、学年で見ると、2学年では約10ポイント、3学年では約2ポイントそれぞれ減少している。背景には、コロナ福による生活環境の変化があると考える。生活リズムアンケートの結果を1学期末三者懇談会で生徒の心身の健康の保持増進につなげるために、生徒及び保護者と共有している。また、日々の学校生活の中で、個別に声かけを通して、規則正しい生活リズムに繋げるよう、指導している。
での育成	の向上の向上運動	◎体力の向 上 (挑戦)	◇体カテストで、全国平 均・県平均を上回る項目の 割合	80% 以上	70% 以上		50% 未満	全体56% 男子 75% 女子 37.5%	男子 37.5% 女子 12.5%	С	昨年度と比べて男女ともに上昇した。しかし、女子の値は上昇してはいるが依然として低い値である。背景には、コロナ禍での運動不足、体を動かす場所が減少していることが考えられる。今後の方策としては、部活動において課題を共有し、数値の低い種目について重点的に取り組んだり、授業において単元に応じた補強運動を行ったりして目標を達成していきたい。
学校づくり	保護者や地域か	◎保護者・地 域の学校満 足度の向上	◇学校生活アンケートで、 「海田中学校の教育活動 に概ね満足している」と肯 定的に回答する保護者の 割合		80% 以上		70% 未満	94.1%	91.3%	Α	昨年度最終の結果と比べても大きく増加し高評価をいただい ている。学校行事が再開され学校行事が人数制限なくできるようになったことも良かったと考える。一方、保護者、生徒に寄り添うために、教員が、時間外での家庭訪問、連携、懇談を行うことも多い。引き続き保護者に情報を発信しながら、勤務時間内での対応ができるよう本校の教育への理解と協力をお願いしていきたい。
	教職員のやり	◎教職員の やりがい (自律・尊重・ 挑戦)	◇学校生活アンケート(教員)で、「私はこの学校に満足している」と肯定的に回答する教員の割合		80% 以上		70% 未満	82.8%	87.5%	В	教員の欠員が生じたために負担をかけることがあった。その中でも82.8%の教職員が肯定的な回答をしていることは評価したい。改善すべきことを明らかにし、教員が尊重し挑戦できる環境を組織で考え改善していきたい。
	がいと働き方改革	◎働き方改革 の推進 (自律)	◇学校生活アンケート(教 員)で、「退校時刻1時間以 内の日を毎月2回以上各自 が設定し、守ることができ た」と肯定的に回答する教 員の割合		80% 以上		70% 未満	70.0%	R5年度か ら指標を 変更 59.4%	С	関庁時間を決めることで、計画を立て業務を行えるようにしている。部活動がない水曜日を中心に自主的に定時退校するようにしているが、校内体制によって難しい状況にあったことも否めない。体制が整った2学期以降、ライフワークバランスが取れるよう退勤時間を意識しながら、働き方改革を推進していく。